

富津市立保育所自己評価書

(佐貫保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和5年4月～令和6年2月

令和6年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	A	連絡ノートや送迎時に口頭で伝え合いながら、家庭との連携を図り、一人ひとりの健康状態を把握し対応した。感染症対策については安全な保育環境づくりを職員間で共通理解を持ち対応した。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら関わっているので安心感を持って過ごせた。基本的な生活習慣が身につくよう生活カードや時計を使用して、自ら気づいて行動できるよう援助した。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	豊かな自然の中で、子どもたちの発見やつぶやきを大切に、子どもたちがやりたいと思ったことができるよう関わった。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	保育士と楽しく遊ぶ中で遊びを共有して信頼関係を築いた。子どもたちが伸び伸びできるように援助していったので、安心して過ごせている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	異年齢での関わりを多く持ったことで、大きい子に憧れの気持ちを持ったり、模倣して遊んだり、ごっこ遊びを展開し楽しんでいる。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	子どもが、自分で解決策を見いだせるように保育士が気持ちを汲み取って代弁している。うまく言えない子には、話を聞き、気持ちを整理していった。また、子どもが相手の気持ちに気づくよう関わった。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	B	生活や遊びの中で気づいたことや困ったことを絵や文字で表し、繰り返し伝えることにより、自分達で気づき守る

			うとする姿が見られるようになった。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	B	安全に活動できるように、下見をしたり、点検をしたりした。子どもたちが、身近な自然に触れ、泥、水、砂で思い思いの遊びを楽しむ中で、五感を使って遊ぶ時間や場を十分に作るようにしていた。散歩に出かける機会をもう少し増やしたかった。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	野菜の栽培や木の実等の自然物を使って遊ぶ中で、形、色、大きさ等に気づき不思議に思ったことは調べたり、試したりしながら興味が深まった。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	自然の中や野菜作りなど季節ならではの体験をし、面白さや不思議さ、子どもたちが発見したこと、感じたことを共感している。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	当番活動や手紙ごっこで文字や数に興味を持ったり、カレンダーに予定を書き込んだりすることで、文字や数字が身近に感じられるようにした。年下児もパズルや型はめ遊び等で図形に触れたり、お手玉遊びで数を数えたり興味を高めることができた。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	一人ひとりの子どもたちに丁寧に関わり、その子に合った対応をする中で、安心して自分の気持ちが伝えられるように配慮している。子どもがうまく伝えられない時は、選択肢をさせたり、気持ちを聞き共感したりする中で表出できるように関わっていた。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	各クラスの年齢、興味、関心、季節に合った絵本の読み聞かせをしたり、貸出しをしたりして家庭でも楽しむことができるようにしている。

			日々の読み聞かせから劇遊び、ごっこ遊びに発展させることができた。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	自分の話したいことを話せるように周りが聞く姿勢をとれるようにしたり、安心して話せる雰囲気を作ったりしている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	子どもたちの気持ちを汲み取りながら、代弁したり必要な言葉を保育士が伝えたりすることで、自発的に伝えられたり挨拶や感謝の気持ちを子ども同士教え合う姿が見られるようになった。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を楽しむ機会を作っている。	A	子どもが作りたと思った時に使えるよう、いろいろな廃材等を用意してあったので、子どもの興味に合わせて遊べていた。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	子どもが考えた創作ダンスや子どもたちが選んだ曲等、興味を持ったことを取り入れたことで積極的に体を動かしたり、年下の子どもに教えたりすることを楽しんでいる。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	自然に触れたり、生活したりする中で、子どもが発見したり、感じたりしたことを保育士は見逃さず関わったので、子どもたちは、音、形、色等に興味を示していた。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	子どもが考えたことをイメージしやすいように絵や図にしたり、写真に撮って掲示したりしながら関わったので友達と共通理解が持て楽しく過ごせた。子どもが気持ちを言葉で表せない時には、保育士がその気持ちに言葉をつけて関わっているので子どもは思いが伝わることの心地よさを感じていた。
保護者へ	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	保護者面談を行い、家庭との連携を図っている。また、必要に応じて相談できるよう

			にしている。日々の子どもたちの様子は連絡ノート、送迎時に伝えている。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	保護者からの情報は、必要に応じて児童票、日誌等、記録して管理している。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	B	アンケート調査を行い、保護者の意見、要望等伺い、今後の保育内容改善に役立てた。送迎時に声をかけながら話しやすい雰囲気を中心掛けている。保護者からの意見や要望に対して改善や検討をした。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	行事計画を子どもたちと一緒に話し合いをして実施している。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	コロナ禍で実施できなかった保育参加を計画し、実施することができた。運動会、発表会では、感染症対策をしながらより多くの保護者の方に見てもらえるようにした。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B	年間の計画を立て、更に実施前に行事計画書を作成して、職員で話し合っ実施している。実施後は職員で振り返りをして次につなげている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	個人情報等、記載された書類は、所定の場所で管理している。また、知り得た情報は全職員が守秘義務として漏らさないように徹底している。
	園内研修を実施している。	A	定期的に園内研修を行い、職員のスキルアップにつなげている。また、研修会に参加して、知り得たことを報告し合い共通理解を深めている。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B	ドキュメンテーションを保護者の目につきやすい所に掲示し、クラスごとに日常生活の様子を伝えるようにした。行事では、保護者に子ども向けメッセージを記入してもら

		うことで子どもも喜ぶ様子があった。今後は、掲示の仕方を工夫できると、更に保護者との共通理解にもつながっていく。
--	--	---